

議員提出議案第 6 号

「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書

上記議案を別紙のとおり会議規則第 14 条第 2 項の規定により提出します。

令和 7 年 9 月 29 日

渋川市議会議長 安 川 信 之 様

提出者 教育福祉常任委員会
委員長 後 藤 弘 一

別紙

議員提出議案第6号

「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書

今、不登校の子どもの人数は、小・中・高を合わせると41万人を超えていることが文部科学省が令和5年度に行った調査で明らかになっています。また、特別支援学級や特別支援学校に在籍する子どもの人数も過去最高を更新しています。これらの一因として、学習指導要領改訂のたびに学習内容が増加し、難しくなるとともに、教科書のページ数も増加していることが子どもたちの負担になっていると指摘されています。

多くの学校現場では、過大な学習内容が、子どもたちの主体的学びや個別最適な学びなどの豊かな学びの保障を困難にしているとともに、標準授業時数を大きく上回る授業時数を設定せざるを得ない要因になっています。

このように、子どもたちの豊かな学びの保障や教職員の働き方改革には「カリキュラム・オーバーロード」の状態を改善することが喫緊の課題であり、次期学習指導要領の内容精選や標準授業時数の削減が求められます。

つきましては、下記の措置を講じられるよう強く要請します。

記

- 1 子どもたちの豊かな学びを保障するため、「カリキュラム・オーバーロード」の早期改善のため、学習指導要領の内容の精選等を行うこと。
- 以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

令和 年 月 日

渋川市議会議長 安 カ 川 信 之

衆議院議長 あて

参議院議長

内閣総理大臣

文部科学大臣